

2005年7月11日

ウー  
世界最高輝度の新 ALIS パネルを搭載したプラズマテレビなど新世代「Wooo」11機種を発売  
ウー  
「Wooo」ブランドキャラクターに「黒木 瞳」さんを起用

日立製作所ユビキタスプラットフォームグループ（グループ長&CEO：立花 和弘）は、「Wooo」8000 シリーズなど薄型テレビ 11 機種を 8 月中旬より順次発売します。新開発の世界最高ピーク輝度\*1・業界最高解像度\*2 の ALIS\*3 パネル搭載により、ハイビジョン映像等を高画質でリアルに表現し、「輝きある映像」を楽しむことができる 42V 型・37V 型および 55V 型（e-ALIS 方式\*4）のハイビジョンプラズマテレビ 6 機種と、IPS 方式\*5 液晶パネルを搭載した 37V 型・32V 型ハイビジョン液晶テレビ 5 機種からなります。本ラインアップのうち 5 機種は、160GB の HDD レコーダー機能を搭載すると共にデジタルダブルチューナー（地上・BS・110 度 CS デジタルハイビジョンチューナー 2 個）を採用しています。

また、本シリーズ発売を機に、「Wooo」ブランドキャラクターとして女優の「黒木 瞳」さんを起用し、薄型テレビを始めとする当社デジタル家電製品の顔として、積極的な宣伝・販売促進戦略を展開していきます。

今回発売する「Wooo」8000 シリーズでは、高精細・高輝度を特徴とする ALIS 方式の「メガピクセル ALIS パネル」（55V 型・42V 型・37V 型）を採用し、1,400cd/m<sup>2</sup>（42V 型）の世界最高ピーク輝度を達成すると共に、プラズマ放電の変更により黒輝度を低減することで 3000：1（42V 型）の高コントラスト比を実現しました。また、本シリーズのプラズマテレビでは、年間消費電力量\*6 を大幅に低減し（42V 型・37V 型で前機種に比べ約 30%）、従来以上に省エネ性能を向上しています。

さらに、新開発の高輝度パネルにあわせて、デジタル高画質処理技術「Picture Master（ピクチャーマスター）」の画像解析アルゴリズムをブラッシュアップし、高画質の「奥ゆき感ある映像」を実現しています。本機能により、今後ますます増えていくスポーツや映画などのハイビジョン映像をより高画質でリアルに表現することが可能になりました。また、2003 年からスタートした地上デジタル放送のエリア拡大によるデジタル放送の視聴機会の増加にあわせ、今回「HR」タイプには、デジタルチューナー（地上・BS・110 度 CS デジタルハイビジョンチューナー）を 2 個搭載しました。HDD レコーダー機能と組み合わせることによりデジタルハイビジョン番組をハイビジョン画質で裏番組録画ができるなど、家庭におけるデジタル放送の楽しみに方に新たなバリエーションを提供します。

なお、8000 シリーズとともに、今回 26V 型ハイビジョン液晶テレビ 1 機種をあわせて発売します。

「黒木 瞳」さんを「Wooo」ブランドキャラクターに起用

「Wooo」は「映像にこだわる日立」を象徴する高品質の映像系デジタル家電のブランドです。この「Wooo」の究極の映像美を感じていただくために、今、最も輝いている女優「黒木 瞳」さんをブランドキャラクターとして起用しました。その上品でかつ意欲的に生きる姿は、先進的な「Wooo」の顔として最適なキャラクターと考えました。いつも輝く生き方を実現している「黒木 瞳」さんの輝く美しさを通して「Wooo」のすばらしさを多くの人々に広く訴えていく予定です。

なお、「黒木 瞳」さんは、「Wooo」ブランドキャラクターとして、今後薄型テレビだけでなく DVD ビデオカメラ・DVD レコーダー・液晶プロジェクターという「Wooo」全製品において、日立映像機器の「顔」として様々な広告に登場していただく予定です。

- \*1 : 42V 型ハイビジョンプラズマパネル単体白ピーク輝度として (2005 年 7 月現在、日立調べ)
- \*2 : 37V 型・42V 型プラズマパネルとして (2005 年 7 月現在、日立調べ)
- \*3 : 放電電極対の組み合わせを交互に変えることによって偶数ラインと奇数ラインを交互に発光させる方式  
(Alternate Lighting of Surfaces Method)
- \*4 : 偶数ラインと奇数ラインを交互にアドレスした後、全ラインを一斉に発光して映像を表示する方式  
(extended-ALIS)
- \*5 : (株)日立ディスプレイズ(取締役社長：米内 史明)が開発した TFT 液晶の表示方式。液晶分子を基板と平行に回転させ  
広視野角を実現 (IPS = In Plane Switching)
- \*6 : 年間消費電力量は JEITA 基準による。標準状態の「スタンダード」モードにて測定したもの

・Wooo (ウー) は 次の 3 つの「Wo～」を意味しています。

(Wonder—驚きがある。World standard—世界の新しい基準である。Worthwhile—高い価値がある。)

## 型式、価格及び発売日

### ハイビジョンプラズマテレビ・ハイビジョン液晶テレビ

方式	画面サイズ	型式	発売日	希望小売価格(税込)*	当初生産台数
プラズマ	55V 型	W55P-HR8000	9 月 下旬	861,000 円	20,000 台/月
		W55P-H8000	9 月 中旬	798,000 円	
	42V 型	W42P-HR8000	9 月 中旬	630,000 円	
		W42P-H8000	8 月 中旬	567,000 円	
	37V 型	W37P-HR8000	9 月 中旬	546,000 円	
		W37P-H8000	8 月 中旬	483,000 円	
液晶	37V 型	W37L-HR8000	9 月 中旬	546,000 円	15,000 台/月
		W37L-H8000	8 月 中旬	483,000 円	
	32V 型	W32L-HR8000	9 月 中旬	441,000 円	
		W32L-H8000	8 月 中旬	378,000 円	
	26V 型	W26L-H80	9 月 中旬	294,000 円	

\* ラックおよびスタンドは別売(26V 型、32V 型を除く)

## 開発の背景

家庭用薄型テレビの需要は、2001 年に日立が世界初の 32V 型プラズマテレビを発売して以来急激に市場が拡大し、2004 年度には約 140 万台 (26V 型以上の薄型テレビ。日立推定) にまで達し、いよいよ本格的な普及期に入ってきました。BS デジタル放送の受信機数は 892 万世帯 (5 月末時点：NHK 調べ)、地上デジタル放送受信機数もすでに累計 463 万台 (5 月末時点：JEITA 調べ) を超えるなど、ハイビジョン高画質放送の時代を迎えました。この間日立は一貫してハイビジョン画素の表示デバイスの採用にこだわり続けた「Wooo」シリーズを発売してきました。

今回発売する「Wooo」8000 シリーズは、本格的なデジタルハイビジョン放送時代に先駆け、全機種デジタルハイビジョンチューナー内蔵のラインアップとしました。FHP\*7 が開発・製造する第 5 世代 ALIS パネルを搭載したより明るくよりコントラストのあるプラズマテレビと、視野角が広い IPS 方式の

液晶パネルを搭載した液晶テレビです。さらに表示デバイスの進化にあわせて、映像の「奥ゆき感」の表現を追求してきたデジタル高画質映像化処理技術「Picture Master (ピクチャーマスター)」をブラッシュアップし、これまで以上に美しいハイビジョン高画質を提供していきます。

また、2002年にHDD\*<sup>8</sup>レコーダー搭載モデル「HR」シリーズを発売して以来、高画質ハイビジョン放送をHDDレコーダーに簡単に録画できる手軽さと、いつでも高画質ハイビジョン映像を楽しめることで、薄型テレビの新しいお客様価値を提案してきました。今年3年目に入る「HR」シリーズは、デジタルチューナー（地上・BS・110度CSデジタルハイビジョンチューナー）を2個搭載した「デジタルダブルチューナー」として進化、デジタルハイビジョン番組をハイビジョン画質で裏番組録画することが可能になりました。また、ボタンの大型化を図ったリモコンと、選んだ部分が拡大表示される「ポップアップ表示」を採用したGUIにより、より一層使い易さを向上しています。

当社はリビングルームのテレビを全て薄型テレビに置き換えることを基本方針として、大画面はプラズマテレビ、中型サイズは液晶テレビを基本に、お客様のニーズにきめ細かく対応するべく、ラインアップの拡充を強力に推進していきます。

\*7：富士通日立プラズマディスプレイ株式会社(代表取締役社長:井本義之)、2005年4月に当社連結子会社となる。

\*8：日立グローバルストレージテクノロジーズ(会長&CEO 中西 宏明) 製

### **お客様からの問合せ先およびカタログ請求先**

お客様相談センター

電話：0120-312111 (フリーコール)

時間：9:00～17:30 (日曜・祝日及び弊社休日を除く)

### **製品紹介ホームページ**

「日立AVワールドホームページ」

URL : <http://av.hitachi.co.jp/>

以上

## <新製品の主な特徴>

### 1. 自社開発ハイビジョンプラズマパネル・IPS 液晶パネルの採用

#### (1) ハイビジョンプラズマテレビに輝きを表現する高輝度「メガピクセルALIS パネル」を採用

ALIS パネルの 5 世代目として新たに開発した「メガピクセル ALIS パネル」を採用しました。高輝度 1,400cd/m<sup>2</sup> (42V 型) と 3000 : 1 のコントラスト比 (42V 型) で、力強い輝きのある白と暗部の階調表現とを両立させた高画質化を実現しています。

#### (2) IPS 方式液晶パネルで、リビングでの視聴にも適した広視野角液晶テレビを実現

上下左右 176 度の広視野角パネルを搭載しているため、ファミリーで使うリビングでの設置も OK です。また、新たに「バックライトブリンキング」を採用し、動画応答性能も大幅に向上しています (32V 型)。

### 2. 年間消費電力量を大幅に低減し、省エネ性能を向上

当社従来ハイビジョンプラズマテレビに比べ、42V 型・37V 型 (H タイプ) とともに年間消費電力量を約 30% 低減し、省エネ性能を向上。液晶テレビも 32V 型で年間消費電力量を 17% 低減しています。

### 3. デジタルダブルチューナーやリモートスィーベルなど、使い易さを追求

- ・デジタルダブルチューナー搭載の HDD レコーダー機能 (HR タイプ)
- ・大きなボタンの「かんたんリモコン」
- ・選べる 2 タイプのリモートスィーベル

## 高画質映像化処理技術

### 1. ハイビジョンプラズマテレビ：新世代「メガピクセルALIS パネル」&MBP (マルチ・バンド・パス) フィルター

#### (1) ハイビジョン放送をリアル表示する「メガピクセルALIS パネル」が大幅性能アップ

垂直 1024 画素×水平 1024 画素の 105 万画素を持つ高精細プラズマパネル (42V 型・37V 型) では、デジタルハイビジョン放送の垂直方向の信号 (1080 画素) を画素変換せずにリアル表示することが可能です。また、従来から高い輝度を特徴としている ALIS パネルですが、本シリーズでは世界最高ピーク輝度の 1,400 cd/m<sup>2</sup> (42V 型) という高輝度化を実現しました。さらにパネル駆動の最適化によりこれまで苦手としていた黒輝度を抑えることができ、42V 型で 3000 : 1、37V 型で 2500 : 1、55V 型で 2000 : 1 の高いコントラスト比を実現し、コントラスト性能を大幅に向上しました。

#### (2) 新開発 MBP (マルチ・バンド・パス) フィルター

今回の新しいパネルに合わせ、新開発の前面フィルターを搭載しました。プラズマパネルの発光スペクトル特性に合わせたマルチ・バンド・パス特性を持たせることによって、プラズマの発光を効率よく透過させると同時に外光の反射を効果的に遮断します。

### 2. 液晶テレビ：広視野角 IPS 方式液晶パネルの搭載と動画応答性能の向上

#### (1) 全ての機種に日立が開発した広視野角の IPS 方式液晶パネルを搭載

リビングに設置するテレビでは視聴位置がテレビの正面になるとは限りません。横になった姿勢で視聴することもあるため、視野角性能はテレビを選ぶ際の重要な要素です。今回発売する日立の新しい液晶テレビのラインアップは、全て IPS 方式の液晶パネルを搭載しているため、広い視野角 (上下左右 176 度) が確保され、様々な角度から見ても画面が白くなったり、肌色に変化すること

がありません。

## (2) 新採用技術で動画応答性能が大幅向上(32V型)

受信映像と映像のフレームの間に、黒い画面の映像を入れる「スーパーインパルス表示技術」に加え、新たにバックライトを消灯させる「バックライトブリンク」を採用したことにより、液晶が苦手としていた動画応答性能を大きく向上しています。

## 3. 高画質デジタル映像処理技術：新「Picture Master (ピクチャーマスター)」

日立のフラットパネルテレビの高画質を支える「Picture Master (ピクチャーマスター)」の画像認識機能は、シーン毎に映像の輝度情報を解析していた従来の機能を向上させると共に、今回、色情報の解析機能を新たに加えることで、より高度な画像認識が行えるようになり、従来より一層「奥ゆき感」のある映像表現を実現しています。

## 省エネ&エコロジー対応

### 1. 年間消費電力量の大幅低減と省エネ機能

- (1) プラズマテレビで、輝度・コントラストを向上しながら、消費電力を低減しました。年間消費電力量を W42P-H8000 で 330 kW・h/年、W37P-H8000 で 290 kW・h/年と、それぞれ 42V 型、37V 型で当社従来機種 7000 シリーズより約 30%低減しました。液晶テレビも、高輝度・高コントラストを維持しながら、年間消費電力量を 32V 型で 17%低減しました。
- (2) プラズマパネルは約 60,000 時間<sup>9)</sup>の長寿命設計。液晶パネルも約 60,000 時間<sup>10)</sup>の長寿命設計。
- (3) テレビの切り忘れなどに備えた以下の省エネ機能を搭載しました。
  - ・放送終了で無信号状態が 10 分継続すると電源をオフする「無信号電源オフ」
  - ・リモコン等の操作が約 2 時間無い場合に電源をオフする「無操作電源オフ」
  - ・ビデオ入力での無信号状態ではパネル部分への電力供給をカットする「ビデオパワーセーブ」

### 2. 環境に配慮したエコロジーの推進

日立の環境行動計画のもとに、プリント基板実装用はんだの無鉛はんだ化、テレビの筐体のハロゲンフリー化、製品内部に使用するプラスチック材料の種類を統合することで将来のリサイクル性を向上、特定有害物質の廃止など、設計段階から環境に配慮した製品作りを実施しました。

## 使い易さの向上とユニバーサル設計

### 1. デジタルダブルチューナー搭載でハイビジョン番組の裏番組録画が実現

- (1) HR タイプには、地上・BS・110 度 CS デジタルチューナーを 2 個搭載することにより、以下の機能が加わり、より使いやすくなりました。
  - ①見たい番組が重なったときに裏番組録画をしながら、番組を視聴できる
  - ②録画予約で録画<sup>11)</sup>が始まっても、既に録画済みの番組を再生できる
  - ③2 画面機能を使ってデジタル放送の 2 つの番組を視聴できる
- (2) 搭載している HDD の容量は 160GB で、デジタルハイビジョン映像なら約 16 時間<sup>12)</sup>、EP モードで最長約 220 時間<sup>12)</sup>の録画が可能です。
- (3) HDD レコーダー内蔵なので、外部接続したレコーダーのように、ケーブル接続の手間や外部入

力に切り替えたり、リモコンを使い分けたりといった面倒な操作は必要ありません。テレビのリモコン1つで、思い立ったときにいつでも手軽に録画、再生できます。

## 2. ボタンの大型化とポップアップGUI で使いやすくなったリモコン

基本操作部分と機能を楽しむ部分に分けてブロック配置されたリモコンボタンは、よく使うチャンネル選局ボタンの面積比を従来の1.5倍とし、黒字に白色の見やすい文字印刷を採用、上下のボタン間隔も従来機種で3mmだったものを4mmに広げてより使いやすくなりました。また、リモコンの最下段部には「HR」タイプではHDDレコーダー操作、「H」タイプではプリコードタイプ<sup>\*13</sup>のDVD用操作ボタンを配置しています。

今回の製品は、デジタル放送のEPG（電子番組表）や操作メニュー表示のGUIで、選んだ項目や内容が周辺より少し拡大され浮き出してくるポップアップ表示を採用することで画面操作時の視認性を上げ使いやすさを向上させています。

## 3. スタンドタイプとラックタイプ、選べるリモートスイーベル

日立の薄型テレビの特徴となった「リモートスイーベル」機能は、今回2種類のタイプを用意（プラズマ55V型・液晶32V型はスタンドタイプのみ）しました。従来と同様な形状のスタンドタイプと本体の下に周辺機器が置ける棚板を2枚装備したラックタイプを設定しています。スタンド、ラックは別売としており、お客様の設置場所に合わせて選ぶことができます。なお、32V型液晶テレビにはスイーベルスタンドを標準装備（付属）としています。

種 類	適合サイズ	型名	希望小売価格（税込）
スイーベルスタンド	55V型 PDP用	TP-55WST	45,150円
	42V型 PDP用	TP-4237WST	37,800円
	37V型 PDP・LCD用		
スイーベルラック	42V型 PDP用	TB-PSR4251	102,900円
	37V型 PDP用	TB-PSR3751	99,750円
	37V型 LCD用	TB-LSR3751	99,750円

### その他の特徴

#### 1. プラズマテレビ：迫力の3Way10スピーカーシステム

左右各々のチャンネルに、独立した専用ボックス構造の低音用ウーハー1個と、バスレフ構造のボックスにネオジウムマグネットを使い高性能・小型化を実現した中高音用の新規開発ミッドレンジ用スピーカー3個および高音用ツイータ1個を配置し、合計5個のスピーカーを搭載しました。セット総合では10個のスピーカーを内蔵し、音声出力は55V型・42V型は総合36W、37V型は総合28Wの迫力の本格的スピーカーシステムを採用しています。

#### 2. 液晶テレビ：3Way6スピーカーシステム

テレビ本体の下部に音声出力総合20Wのアンダースピーカーを配置。バスレフ方式の低音用ウーハー1個とバスレフ方式の中高音用に2個のスピーカーを使用したシステムです。

### 3. 迫力のサラウンドシステム

サラウンド効果とサウンド効果用に、WOW SRS サラウンド（立体音響効果）およびTruBass（低音再生）、BBE（明瞭度改善）、5.1ch デジタル放送用 TruSurround（バーチャルサラウンド）を搭載しているため、大画面の迫力ある映像に負けない迫力のサウンドを楽しめます。

### 4. 2系統のHDMI端子を装備

次世代デジタルテレビ向けのデジタルインターフェースである HDMI (High-Definition Multimedia Interface)端子を新たに装備。HDMI 端子は既に発売されている DVD プレーヤー・DVD レコーダーに採用されていること、また、将来的にはゲーム機・ホームシアターシステム・PC などへの採用が予想される点を考え、今回の製品にはHDMI 端子を2系統装備し、将来の拡張性にも配慮しています。

\*9：パネル輝度 40%到達までの目安時間

\*10：バックライト輝度半減までの目安時間

\*11：タイムシフト録画の状態をのぞく

\*12：番組あたりの最長連続録画時間は9時間です。最大プログラム数は999になります。

\*13：日立、松下、ビクター、ソニー、東芝、パイオニア、シャープのDVDプレーヤー／レコーダーに対応しています。

(注) WOW、TruBass、TruSurround は SRS Labs, Inc. の商標です。

BBE は、BBE サウンド社が特許を獲得している音響改善技術です。

HDMI (High-Definition Multimedia Interface)はHDMI Licensing LLC. の商標です。

## HDD レコーダー部のその他の特徴 HR タイプ

### 1. いつでも手軽にハイビジョン番組を録画・再生

リモコンにあるボタン操作だけでハイビジョン番組の多彩な録画や再生機能が使用できます。

#### ワンタッチ録画

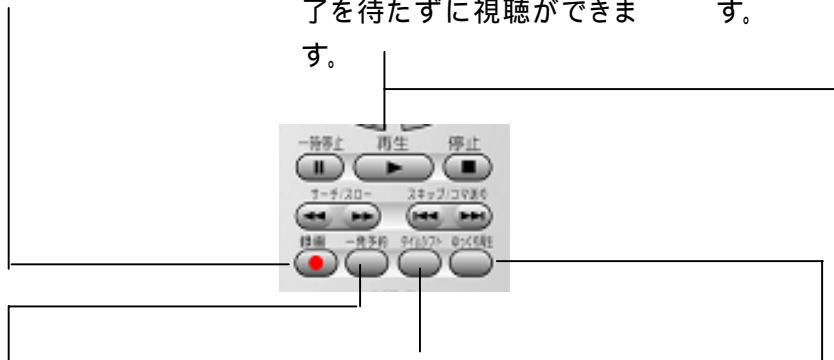
「録画」ボタン操作で視聴中の番組をすぐに録画開始できます。

#### 追いかけて再生

番組録画中に「再生」ボタンを押すと現在録画中の番組を最初から再生します。録画の終了を待たずに視聴ができます。

#### 音声付き 1.5 倍速再生

録画番組の再生中に再度「再生」ボタンを押すと音声付き 1.5 倍の速さで再生ができます。



#### 一発録画予約

番組の視聴中に「一発録画予約」ボタンを押すとその番組を毎週録画する予約が簡単にできます。

#### タイムシフト

テレビの視聴中に用事で席を立つとき「タイムシフト」ボタンを押せばそのシーンから録画がスタート<sup>\*14</sup>。戻って来て見逃したシーンに戻って見ることができます。<sup>\*15</sup>

#### ゆっくり再生

テレビ視聴中や録画番組の再生中に「ゆっくり再生」ボタンを押すと 0.8 倍の速度で再生されます。音声は話速変換され自然なままの感じで聞えます。語学の勉強に使ったり、早口のせりふを聞きやすくできます。

### 2. 動画と音声で録画内容が簡単にチェック

- 録画した番組を画像付きのサムネイルで表示します。録画したデジタル放送の日時や番組名も自動で表示。
- カーソルで選択した番組は、サムネイル画面の状態のまま、動画と音声で内容が確認できます。また、一度も見えていない番組には「NEW」マークが付くので分かりやすく便利です。



録画済の番組を「録画日時」「録画時間」「チャンネル」「録画モード」「タイトル情報」で表示。

\*14: 最初の 30 秒間は録画開始したシーンで静止

\*15: 最大 90 分間のタイムシフトが可能 (30・60・90 分の設定が可)



## <主な仕様>

### 1. 地上・BS・110度CS デジタルハイビジョンプラズマテレビ

型式	W55P-HR8000	W55P-H8000	W42P-HR8000	W42P-H8000	W37P-HR8000	W37P-H8000
表示サイズ (幅×高さ)	122.9×69.1cm		92.2×52.2cm		81.4×44.5cm	
表示方法	e - ALIS方式		ALIS方式			
表示画素数 (水平×垂直)	1,366×768		1,024×1,024		1,024×1,024	
画素ピッチ (水平×垂直)	0.90×0.90mm		0.90×0.51mm		0.80×0.44mm	
輝度 (白ピーク、パネル単体)	1,000cd/m <sup>2</sup>		1,400cd/m <sup>2</sup>		1,300cd/m <sup>2</sup>	
コントラスト (暗所、パネル単体)	2000:1		3000:1		2500:1	
受信チャンネル	地上デジタル 000-999 (CATV パススルー対応) BS デジタル 000-999 110度CS デジタル 000-999 (右旋円偏波) 地上アナログ VHF:1-12ch UHF:13-62ch CATV:C13-C63					
デジタルダブルチューナー						
HDDレコーダー機能						
音声出力 (JEITA)	総合 36W		総合 36W		総合 28W	
スピーカー 低音用 中高音用	・( 8cm バスレフ方式) ×2, ・( 4cm×3+ 2cm×1、バスレフ方式) ×2		・(5.5*10.0cm バスレフ方式) ×2, ・( 4cm×3+ 2cm×1、バスレフ方式) ×2		・( 6.6cm バスレフ方式) ×2, ・( 4cm×4、バスレフ方式) ×2	
サラウンド他	WOW (SRS-3D、TruBass)、BBE、Tru-Surround					
入出力端子	HDMI 入力端子	2	2	2	2	2
	D 4 入力端子	2	2	2	2	2
	S2 ビデオ入力	3	3	3	3	3
	ビデオ入力	4	4	4	4	4
	モニター出力	1	1	1	1	1
	サブウーハー出力	1	1	1	1	1
	i.LINK (DV 入力対応)	2	2	2	2	2
	光デジタル音声出力	1	1	1	1	1
	電話回線接続端子	1	1	1	1	1
	IR コントローラー	2	2	2	2	2
	ヘッドホン出力	1	1	1	1	1
	LAN 端子 (10BASE-T/100BASE-TX)	1	1	1	1	1
	拡張端子	1	1	1	1	1
SD/MMC カードスロット	1	1	1	1	1	1
アンテナ入力端子	VHF/UHF 入力 ×1 BS/CS-IF 入力 ×1					
消費電力 (待機時)	<u>560W</u> (0.5W)	<u>530W</u> (0.5W)	<u>380W</u> (0.5W)	350W (0.5W)	<u>325W</u> (0.5W)	295W (0.5W)
年間消費電力量 (JEITA 基準「スタンダード」で測定)	<u>600</u> kW・h/年	<u>550</u> kW・h/年	<u>380</u> kW・h/年	<u>330</u> kW・h/年	<u>340</u> kW・h/年	<u>290</u> kW・h/年
本体外形寸法 (幅×高さ×奥行)	151.0×84.0×10.5cm (下部最大奥行 11.8cm)		113.4×64.8×9.8cm (下部最大奥行 10.8cm)		104.9×56.6×10.2cm (下部最大奥行 11.2cm)	
本体質量	63.0kg	61.7kg	37.9kg	36.6kg	31.8kg	30.5kg
リモートスイーベル スタンド/ラック	(別売) / -		(別売) / (別売)		(別売) / (別売)	

注) 消費電力、待機電力および年間消費電力量の下線をひいたイタリック文字部分は暫定参考値です。

i.LINK はソニー株式会社の商標です。

## 2. 地上・BS・110度CS デジタルハイビジョン液晶テレビ

型式	W37L-HR8000	W37L-H8000	W32L-HR8000	W32L-H8000	
表示サイズ (幅×高さ)	82.0×46.1cm		69.8×39.2cm		
表示方法	IPS		IPS		
表示画素数 (水平×垂直)	1,366×768		1,366×768		
画素ピッチ (水平×垂直)	0.60×0.60mm		0.51×0.51mm		
輝度 (パネル単体)	500cd/m <sup>2</sup>		500cd/m <sup>2</sup>		
コントラスト (暗所、パネル単体)	800:1		880:1		
視野角(JEITA 準拠)	176度		176度		
受信チャンネル	地上デジタル 000-999(CATV パススルー対応) BS デジタル 000-999 110度CSデジタル 000-999(右旋円偏波) 地上アナログ VHF:1-12ch UHF:13-62ch CATV:C13-C63				
デジタルダブルチューナー					
HDDレコーダー機能					
音声出力 (JEITA)	総合 20W				
スピーカー 低音用 中高音用	(6.5×10.0cm バスレフ方式)×2 (6.6cm+4.0cm バスレフ方式)×2				
サラウンド他	WOW (SRS-3D、TruBass)、BBE、Tru-Surround				
入出力端子	HDMI 入力端子	2	2	2	2
	D4 入力端子	2	2	2	2
	S2 ビデオ入力	3	3	3	3
	ビデオ入力	4	4	4	4
	モニター出力	1	1	1	1
	サブウーハー出力	1	1	1	1
	i.LINK (DV 入力対応)	2	2	2	2
	光デジタル音声出力	1	1	1	1
	電話回線接続端子	1	1	1	1
	IR コントローラー	2	2	2	2
	ヘッドホン出力	1	1	1	1
	LAN 端子 (10BASE-T/100BASE-TX)	1	1	1	1
	拡張端子	1	1	1	1
SD/MMC カードスロット	1	1	1	1	
アンテナ入力端子	VHF/UHF 入力 ×1		BS/CS-IF 入力 ×1		
消費電力(待機時)	<u>225W</u> (0.5W)	<u>195W</u> (0.5W)	<u>190W</u> (0.5W)	<u>160W</u> (0.5W)	
年間消費電力量 (JEITA 基準「スタガード」で測定)	<u>274</u> kW・h/年	<u>224</u> kW・h/年	<u>248</u> kW・h/年	<u>198</u> kW・h/年	
本体外形寸法 (幅×高さ×奥行)	94.0×65.7×11.9cm		81.3×58.4×11.4cm		
本体質量	27.1kg	25.8kg	22.1kg	20.8kg	
リモートスイーブル スタンド/ラック	(別売) / (別売)		(付属) /		

注) 消費電力、待機電力および年間消費電力量の下線をひいたイタリック文字部分は暫定参考値です。 i.LINK はソニー株式会社の商標です。

### 3. 地上・BS・110度CS デジタルハイビジョン液晶テレビ (W26L-H80)

型式	W26L-H80	
表示サイズ (幅×高さ)	57.6 X 32.4cm	
表示方法	IPS	
表示画素数 (水平×垂直)	1,366 × 768	
画素ピッチ (水平×垂直)	0.415 × 0.415mm	
輝度 (パネル単体)	500cd/m <sup>2</sup>	
コントラスト (暗所、パネル単体)	600:1	
視野角 (JEITA 準拠)	176 度	
受信チャンネル	地上デジタル	000-999 (CATV パススルー対応)
	BS デジタル	000-999
	110 度CS デジタル	000-999 (右旋円偏波)
	地上アナログ	VHF: 1-12ch UHF: 13-62ch CATV: C13-C63
デジタルWチューナー		
HDDレコーダー機能		
音声出力 (JEITA)	総合 20W	
スピーカー	(12.6X4.4cm) × 2	
サラウンド他	WOW	
入出力端子	HDMI 入力端子	
	D 4 入力端子	2
	S2 ビデオ入力	3
	ビデオ入力	3
	R G B 入力	1
	モニター出力	1
	サブウーハー出力	1
	i.LINK	
	光デジタル音声出力	1
	電話回線接続端子	1
	IR コントローラー	1
	ヘッドホン出力	1
	LAN 端子 (10BASE-T/100BASE-TX)	1
	拡張端子	
SD/MMC カードスロット		
アンテナ入力端子	地上デジタル用 VHF/UHF 入力 × 1	
	BS/CS-IF 入力 × 1	
	地上アナログ用 VHF/UHF 入力 × 1	
消費電力(待機時)	<u>134W(0.93W)</u>	
年間消費電力量 (JEITA 基準「スタンダード」で測定)	<u>189kW・h/年</u>	
本体外形寸法 (幅×高さ×奥行)	66.2 × 46.3 × 10.3cm	
本体質量	<u>18.0kg</u>	
リモートスイーベル	スタンド付属	

注) 消費電力、待機電力・年間消費電力量および本体質量の下線をひいたイタリック文字部分は暫定参考値です。

---

このニュースリリース記載の情報(製品価格、製品仕様、サービスの内容、発売日、お問い合わせ先、URL 等)は、発表日現在の情報です。予告なしに変更され、検索日と情報が異なる可能性もありますので、あらかじめご了承ください。

---